



No.30

大正っ子

帯広市立大正小学校

Obihiro Taisyou
Elementary School

HP:<http://www.taisyo.obihiro.ed.jp>

平成29年7月18日

いよいよ学期の登校も明日以後4日となりました。今、学校では、1学期のまとめの締めくくりと夏季休業中の過ごし方についての指導を進めているところです。

さて、今号では、先日行われました『かぜるん紙芝居公演』の様子を中心にお伝えしていきます。

北海道紙芝居研究会「かぜるん」紙芝居公演

「かぜるん」紙芝居公園から感じ学んだことは、子どもたちの心の中にしっかりと根をおろしていくことでしょう。

～ かぜるん（北海道紙芝居研究会）紙芝居公演を終えて ～

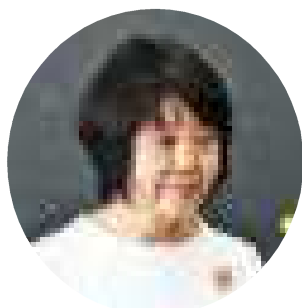
今年で11回目を数える「かぜるん（北海道紙芝居研究会）」紙芝居公演が、7月14日（金）に本校で行われました。本公演は、『じゃがまる農園活動』と並ぶ本校の教育活動の基軸として大正小らしさあふれる取組となっています。11年前に産声をあげ、図書ボランティアの方々が奔走する中で培われ、草創期の校長先生をはじめとする職員の協働によりかぜるんの基礎が築かれました。

「かぜるん」、それは、1年間の中の各学年1時間というわずかな時間・瞬間ではありますが、演技手の思いが教室いっぱいに広がり、観るもの全てを特別な空間へといざないます。子どもたちの瞳は輝き、体が自然に前へ前へ引き寄せられていきます。演技手の声は、鳥のさえずりのごとくですし、心に響くお話の内容と演技手の表現の相互作用、共鳴して行われるからこそ、かぜるん公演の醍醐味と思います。

今年の「かぜるん」公演は、最高気温37℃・室内気温31℃以上の中で行われました。何とか公演をよよい環境で開催させたいという思いで、扇風機を数台配置しての取組になりました。公演が終わると、たくさんの汗をかいたところに心地よい風が吹きぬけ、一瞬の涼しさを感じますがそれでも30℃以上の中でのこと……。紙芝居の素晴らしい内容（世界）を感じた余韻を十分に残して……。それぞれの胸に感動を呼びおこした11回目の『かぜるん公演』は、こうして成功裏に幕を閉じました。

かぜるん紙芝居公演は、学級担任の思いや願い（「子どもたちに考えさせたい」「子どもたちに大切にしてほしい」）をテーマ化することからはじまります。これを受けて、「かぜるん」の皆さんと本校の図書ボランティアの皆さんが、何度も打ち合わせを重ね、形あるものに整えていきます。つまり、学校と学校支援ボランティア（図書ボランティア）の方々、「かぜるん」の皆さんが手を携えて創られる最良の結晶と言えます。

本年度、お世話になった「かぜるん」の方々を紹介します（4名の方々です）



井林 芳枝さん



福寿 裕美子さん



金田一 千尋さん



深田 早苗さん

～ それでは、かぜるん紙芝居公演の様子を写真でつづっていきます。ご覧ください。～



「かぜるん」の方々は、全道規模で活動を展開されています。遠くは、小樽市・札幌市そして、帯広とお住まいも広範囲にわたっています。本校の子どもたちのために遠路かけつけてくださいました。

今年も大変貴重で、座談会においても参加された講師の先生方や図書ボランティアの方々、教職員からたくさんの意見や感想が出され、有意義な時間を過ごすことができました。子どもたちも一生懸命に感想文を書きました。どんな感想が書かれているかということも楽しみです。また、この公演に関わっていただきました多くの方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。



～「かぜるん紙芝居公演」並びに「お話」「読み聞かせ」の取組は、大正小学校をはじめ、帯広市内小学校での長きに渡る取組です。その取組は、お話の中に展開される人々の生き方や考え方の知恵、道徳性、人生観等、充実した内容が含まれていることから、子どもたちの心豊かにはぐくみ、良き影響を与えながら成長・派生し続け、確実に広がり実を結んでいると考えます。誠にありがとうございました。～



じゃがまる農園で成長しつづける作物たち。伸び伸びと育っています！！

昨日、じゃがまる農園の様子を見に行ってきました。作物たちが陽の光をたっぷり浴びて気持ちよさそうでした。猛暑と雨不足などで、心配された生育も順調の様でした。写真は、左から、メークイン、かぼちゃ、スイートコーン、大豆の様子を収めたものです。草刈りのあとが多く見られました。猛暑の中、農園協力委員長の白木さんをはじめ、農園協力委員の皆さん、誠にありがとうございました。

